

# 近年の教育環境の整備 (過去5年程度)



# 学校再編整備

## 【取組概要】

- 「市立学校再編整備第二次実施計画」及び「市立学校適正規模・適正配置計画\_第1期実施計画」に基づく再編整備を推進
  - ① 平成25年4月\_天の原小 開校(旧天道・笹原)
  - ② 平成27年4月\_宅峰中 開校(旧右京・船津・延命)
  - ③ 平成28年4月\_大牟田中央小 開校(旧上官・大牟田)
  - ④ 平成29年4月\_宮原中 開校(旧勝立・米生)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
小学校分	288,184	—	—	77,944	552,378	600,000
中学校分	—	—	59,187	1,166,529	216,060	

上記額にはソフト事業費、次年度繰越を含まず

## 【効果】

学校規模(児童生徒数)の適正化

# 学校施設耐震化・非構造部材耐震化

## 【取組概要】

- 旧耐震基準（S56.5以前）で建てられた校舎等を耐震改修
- 27年度までに耐震化完了（※再編校は再編整備の中で実施）
- 体育館アリーナ天井の撤去工事を30年度までに完了予定

## 【事業費の推移】

（単位：千円）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 （予算額）
小学校分	282,907	247,789	408,191	118,675 20,863	— 86,606	63,000
中学校分	86,779	56,961	20,406	65,796 9,473	— 73,764	58,000
特支分	—	—	443	—	551	

→下段は、非構造部材耐震化事業費を示す

## 【効果】

安全な環境の整備

# 中学校給食推進

## 【取組概要】

- ・ 諏訪小跡地へ中学校給食センターを整備
- ・ 平成27年4月に提供を開始(2736食 29年5月現在)
- ・ センターにおいて施設見学と講話による給食試食会を実施

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算額)
事業費	9,752 基本構想策定 測量地質調査等	288,141 工事請負費 建設工事費等	1,103,000 工事請負費 厨房機器購入等	139,634 給食センター事業費 委託料、施設設備点 検修理、光熱水費等	138,333 給食センター事業費 委託料、施設設備点 検修理、光熱水費等	134,578

## 【効果】

- ・ 安全でおいしい給食の提供
- ・ 食物アレルギーへの対応

# 学校空調設備設置

## 【取組概要】

- 小中学校の普通教室・食堂へのエアコン整備
- 平成28年度に全小学校設置完了
- 平成29年度に全中学校設置完了予定

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算額)
小学校分	—	—	—	17,950	538,001	—
中学校分	—	—	—	4,352	—	175,000

## 【効果】

より快適な学習環境の整備

# 特別支援教育支援員活用事業

## 【取組概要】

- 通常学級に在籍するADHD等発達障害のある児童生徒への指導・支援のための支援員を配置

(平成29年度の状況)

- ・支援を要する児童生徒数 小19校に71名 中8校に22名 計93名
- ・特別支援教育支援員数 小19校に37名 中8校に13名 計50名

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算額)
事業費	18,227	23,761	33,347	40,000	42,562	42,598

## 【効果等】

- 本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができた。
- 保護者の介助等の軽減が図られた。
- 要支援児童生徒の増加に対応する支援員の人材確保

# 少人数学級編制・少人数授業推進事業

## 【取組概要】

- 35人以下の学級編制(順次拡大)  
平成29年度 小学校全学年 中学校での弾力的な運用  
(県加配教員を担任とした学年数 小8校14学年 中3校3学年)
- 習熟度別・課題別による少人数授業  
少人数授業推進のため、小・中学校に非常勤講師を18人派遣

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算額)
事業費	7,802	22,795	25,650	29,033	29,703	29,000

## 【効果等】

- きめ細かな指導の充実を図ったことで、学習意欲や学力の向上とともに、落ち着いた学級づくりを進めることができた。
- 非常勤講師の派遣の一層の充実

# スクールソーシャルワーカーの配置

## 【取組概要】

- いじめ、不登校など問題を抱える子が学校へ復帰できるよう、家庭や地域、学校、関係機関との連携を図りながら解決を図るためにスクールソーシャルワーカーを配置

23年度まで……………県からの1名派遣（週2日）

24年度……………市費1名（週1日）

25年度，26年度……………市費1名（週2日）

27年度，28年度……………市費1名（週3日）

29年度から……………市費2名（週3日，週4日）

※体制拡充：スーパーバイザー＋嘱託員へ

## 【事業費の推移】

（単位：千円）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 （予算額）
事業費	1,880(6月補正)	3,795	3,865	5,745	5,685	8,756

## 【効果】

児童生徒の問題行動等の相談及び解決



# 電子黒板整備

## 【取組概要】

- 市内全小学校に移動式電子黒板一式を設置  
→小学校高学年の国語や算数等の学習で活用
- 研修会等の実施  
→各学校の担当者を対象とした担当者研修会  
→各学校における担当者による校内研修

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算額)
事業費	—	—	—	—	—	10,000

## 【効果】

- 児童の学ぶ意欲や学力の向上
- 教職員の負担軽減